

一般質問

教育振興基金の活用について

教育振興基金の有効活用を！

山添議員

教育振興基金について、2012年に少年科学館の初代館長の連れ合いの方が少年科学館の整備費用として、3000万円の寄附をいただいた。当初は白山市に寄附しようと思っていたものを、七尾市が整備するのと里山里海ミュージアムのことを知り、それが少年科学館のことだと分かったことで、七尾市に寄附しようとしたこと。①寄附者の意思どおり、のと里山里海ミュージアムの整備費用にこの寄附金は使われるのか。②寄附したことを後世に残すべきと考えるが、どう考えているのか。③寄附者への配慮として行政の考えはどうか。

高教育長

①寄附者の意向どおりのと里山里海ミュージアムの整備費として活用させていただいている。②寄附者に対する記録として、寄附者が叙勲を受賞されたことにより残っている。③のと里山里海ミュージアムのオープンに寄附者のご家族を招待する予定である。さらに、ミュージアム内に初代館長が残された能登の貴重な植物に関する膨大な資料、また自然科学に対する業績を紹介するコーナーを設けており、開館の際にはぜひご覧になっていただきたいと思っている。



山添 和良 議員 (未来)



建設中ののと里山里海ミュージアム

【その他の質問項目】  
■中小企業振興基本条例  
■学校の人的配置の充実  
■平和写真パネル展

■空き家等の適正管理  
■小規模保育事業

一般質問

地域連携DMOについて

DMOの組織力強化でさらなる観光誘客を！



中西 庸介 議員 (新政会)



ななお・なかのとDMOが入る和倉温泉観光会館

行政と観光にかかわる事業者団体などが連携して総合的な戦略を立て観光マーケティングや商品開発を進める組織として、ななお・なかのとDMOが昨年の11月28日に法人として設立された。①DMOとして多様な関係者との連携を図るうえで、現在どのような取り組みをしているのか。②市民にDMO活動を周知し、理解度を高める方策をどのように進めていくのか。

前田産業部長

①昨年、七尾市と中能登町からなる「一般社団法人ななお・なかのとDMO」が設立し、本年4月に和倉温泉観光会館2階に事務所を開設した。今月中に観光マネジメントとする専門人材を選考し、雇用が決まった後、宿泊・飲食業、交通機関、文化スポーツ、農林水産業など、多様な関係者らを巻き込み、地域の観光資源を最大限に活用した旅行者の多様なニーズに対応できる観光戦略プランを策定していく予定である。②魅力ある観光地づくりを進めるには、観光関係者のみならず地域住民を含めた地域全体が認識して取り組んでいくことが重要。今後DMOの組織活動等を広報やCATVなどの情報媒体を活用して広く周知し、観光客をおもてなしの心で温かく迎えらるような地域情勢を図っていただきたい。

【その他の質問項目】

■教育現場の多文化改善  
■都市計画道路和倉石崎線

一般質問

七尾市ふるさと納税について

ふるさと納税のさらなる充実を！

木下議員

七尾市のふるさと納税は、平成29年度において石川県内で一番多く寄附をいただき財源確保に大きく寄与した。①使い道として5つの政策に寄附金が用いられているが、具体的にどのような内容なのか。②返礼品のカatalogで、七尾市を紹介するのに世界農業遺産をもっと強調した表現は出来ないのか。③返礼品の増加および寄附金の窓口となるサイトの増設の考えはないのか。

不嶋市長

①七尾版総合戦略に掲げる4項目の分野に活用しており、特に平成30年度は、子ども医療費の助成事業で対象を18歳までに拡大し、その財源に充当した。また、スポーツ合宿誘致活動や地方バス路線の維持対策などにも充当した。平成30年度には1億円近く充当する予定である。②現在も七尾の魅力発信を行っているが弱い部分がある。今後は能登の里山里海をしっかりとアピールしながら、またインパクトのある強いキャッチコピーも考えながら取り組んでいく。③受付サイトで「楽天」と「さとふる」に加え、本年6月から「ふるさとチョイス」「ふるぽ」「JTB」を追加して、本市の交流人口拡大、誘客促進に繋げていけるものである。さらなる窓口追加については、現在の定着度を見極めながら、今後の検討課題としたい。



木下 敬夫 議員 (無党派)



ふるさと納税の返礼品の一部

【その他の質問項目】  
■公共施設の跡地利用  
■地域づくり協議会の連絡組織  
■交流人口の拡大